

総合的な学習の時間**『プロフェッショナルに聞く』Part 2
14歳の君たちに送るメッセージ**

21号では、(株)シティアートプランニングのフォトグラファー肥塚昭仁さんの講話の内容を特集します。肥塚さんは、現2年生の卒業アルバム写真を担当されていて、みなさんも知っての通り、生徒の笑顔の写真をとても上手に撮っていただいているプロのフォトグラファーです。

肥塚さんがフォトグラファーになったきっかけは、大学生の時のアルバイトがきっかけだそうです。小学校の運動会の写真を撮るアルバイトについて、写真の魅力にハマっていき、自分が写真を撮るのも撮られるのも好きだったからということでした。そんな肥塚さんがフォトグラファーという仕事を通して学んだことをたくさん教えていただきました。

**失敗から学んだこと**

肥塚さんがまだフォトグラファーになりたての頃、ある小学校の長崎修学旅行に同行した時のことでした。当時のカメラはフィルム式で撮影したフィルムを巻き取らずに一瞬でもふたを開けてしまうと光が入りフィルムが焼け、せっかく撮影した写真が現像できなくなってしまいます。デジタルカメラは撮影直後に写真を確認することができますが、フィルム式はフィルムを現像するまでどのような写真が写っているのか確認できません。そういう時代背景があります。

長崎平和記念公園の平和像前でとったクラス写真を撮影したカメラのフィルム交換をする際に、フィルムをすべて巻き終える前にカメラのふたを慌てて開けてしまいました。フィルムは焼け、撮り直すこともできず、その小学生の思い出を一瞬のうちに消してしまったという失敗でした。すぐに謝罪し、代替りの学級写真を島原城で撮影し、背景に平和祈念像を合成して無料でその写真を配付したそうですが、もう二度とその学校からは仕事の依頼が来なかったそうです。「すみませんでは済まされない」失敗をして子どもたちの思い出を壊してしまったことを後悔し、その原因究明とこれからの対策を必死に考えました。原因は「ミスをするかも知れない」ということを考えずに、1台のカメラに頼って撮影していたからだと気づき、次からは2台のカメラで常に同じ写真を撮影するようにして、どちらかがダメになっても、もう一つの予備カメラで対応できるようにしたそうです。プロのフォトグラファーとして、お金をもらって働いている以上、仕事に対する責任があり、その責任を果たしてこそそのプロフォトグラファーなのだということを考えさせられた出来事でした。

- ・失敗したらまず謝る。
- ・失敗したら信頼は取り返せない。しかし、原因をしっかりと究明し、改善策を立てて、同じ失敗をもう二度としないようにしていく。
- ・プロとしての責任の自覚。

宇美南中学校のみなさんへ

南中の2年生に伝えたいこととして、右のようなプリントをみなさんのためだけにわざわざプレゼントしていただきました。肥塚さんの経験から学んだことであり、肥塚さんの思いがたくさん伝わってくるお話でした。

「学校のルールを守れない人は、社会のルールも守れない」

だから、今ある決まりをきちんと守り、その決まりが嫌ならきちんとルールに則って、その決まりを変えればいい。そういうことはせずに、不満ばかりを言って守らないのはいけない。社会で生きていく上でとても大切なことだとお話されていました。

「自ら進んであいさつする」

特に、「ありがとう」「ごめんなさい」「すみません」がすぐに言える素直な心をもちましよう。

提出物は期限よりも早めに

相手は自分が提出しないと次の仕事ができないので、早めに出して、その人が余裕をもって次の仕事に取りかかれるように、いつも心づかい、気配り、目配りができるようにする。そうすると、自分への評価も上がっていくということでした。

メモを取る習慣を付ける

聞いただけでは忘れてしまうので、必ずメモを取り、後で確認ができるようにしておくことが大切です。

いつでも取り出せるように整理整頓

机の上にはものを置かず、不要なものは捨て、どこに何があるのか常に自分でわかるようにしておきます。すぐに必要なものが取り出せるようにしておくことは大切です。

ミスしたらいち早く報告

自分一人では解決できないことがある。上司の力を借りなければならないことになるので、すぐに上司に報告し、対策を考え、実行する。そうしなければ取り返しの付かないことになってしまいます。また、信用がなくなり、契約も破棄されることになってしまいます。ミスは極力しないに限りませんが、もしミスをしたら必ず上司（学校なら先生）に「報告・連絡・相談」をしましょう。

- ・忙しい事はありがたいことである。
- ・仕事があることに感謝しよう。
- ・世の中に楽な仕事など無い。
- ・時間と規則を守ろう。（5分前行動は当たり前）
- ・謙虚な心、感謝の心を持とう。
- ・自ら進んで挨拶をしよう。
- ・自由と権利を言う前に義務と責任を果たせ。
- ・生きることは学ぶこと、学ぶことは生きること。（教養は一生の財産です。本を読もう。）
- ・掃除、整理整頓を心掛ける。
- ・人が嫌がる作業も進んで取り組もう。
- ・報連相 報告＝義務 連絡＝気配り 相談＝問題解決（ミスやクレームは早く。言ったかではなく伝わったか）

- ・人財 自分で考えて自分で成果を上げられる人。
- ・人材 言われたことなら自分でやりきれ人。
- ・人在 言われたことを言われた通りにやるだけの人。
- ・人罪 言われたことも出来ないのに不満ばかり言う人。



肥塚さんがなぜあんなにみんなを笑顔にできるのか。その裏にはたくさんのかを経験をから学び取り、生かし、よりよく改善しながら「人の役に立ち喜んでもらえるように」というプロとしての思いがあることがわかりました。いい仕事ができるように常に工夫と努力を積み重ねて生きてこられたからなのだろうなと思いました。肥塚さんの写真は、みなさんへの「愛」で溢れていますね。これからもみなさんの輝いている写真をたくさんとっていただけたと思います。

将来、みなさんも「人財」になれるように、日々自分を磨き成長していきましょう。